



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.402 2024.12.12

れんごう

YAMANASHI

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう～仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～

11
28
THU

連合第94回中央委員会を開催 2025春季生活闘争方針を確認

連合は11月28日(金)に第94回中央委員会を開催し、2025年度春季生活闘争方針を決定しました。

2025春季生活闘争スローガン
みんなでつくろう!賃上げがあたりまえの社会サブスローガン
みんなでつくろう!働く仲間の労働組合

2024春季生活闘争の基本方針(抜粋)

1.賃金要求

(1)賃上げについての考え方

「未来づくり春闘」のもと、国際的に見劣りする日本の賃金水準を中期的に引き上げていくことをめざしてきたが、この3年間、名目賃金は伸びたものの、物価高によって実質賃金は低下し、日本の賃金の相対的位置も低いままである。主要国の賃金が年1～2%ずつ上昇していることを踏まえると、日本の実質賃金をわが国全体の生産性の伸びに応じて継続的に引き上げ、中期的には生産性自体を引き上げることで改善のスピードアップをはかる必要がある。2025年は日本の実質賃金を少なくとも1%程度改善し、賃金における国際的ポジション回復をめざす必要がある。

近年、人材確保のために初任給を大幅に引き上げる一方、中高年層への配分を相対的に抑制するなどの傾向がみられた。連合総研「勤労者短観」(2024年4月調査)によると、賃上げが物価上昇に追いついていないと感じる比率が中高年層で相対的に高まっている。賃上げ原資の配分についても、人材の定着やモチベーションの維持・向上などの観点も含め、労使でしっかりと協議し、すべての人の生活向上をめざす必要がある。

(2)具体的な要求目標

上記の基本的な役割分担を踏まえた上で、連合は、月例賃金について、産業相場や地域相場を引き上げていく「底上げ」のための「上げ幅の指標」と「格差是正」と賃金の「底支え」を念頭に置いた「水準の指標」の目安を示す。月例賃金にこだわるのは、これが最も基本的な労働条件であり、社会的な水準を考慮して決めるべき性格のものだからである。所定内賃金で生活できる水準を確保するとともに、「働きの価値に見合った水準」に引き上げることをめざす必要がある。(▼下図参照)

<「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方>

| | 目的 | 要求の考え方 |
|------|-------------------------|----------------------------------------------------------|
| 底上げ | 産業相場や地域相場を引き上げていく | 定昇相当分+賃上げ分 (→地域別最低賃金に波及) |
| 格差是正 | 企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する | ●社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ●男女間については、職場実態を把握し、改善に努める |
| 底支え | 産業相場を下支えする | 企業内最低賃金協定の締結、水準の引き上げ(→特定最低賃金に波及) |

1)中小組合の取り組み(企業規模間格差是正)

④賃金実態が把握できないなどの事情がある場合は、賃金要求指標パッケージの目標値に格差是正分1%以上を加え、18,000円以上・6%以上を目安とする。

2)雇用形態間格差是正の取り組み

②有期・短時間・契約等で働く者の労働諸条件の向上と均等待遇・均衡待遇確保の観点から、企業内のすべての労働者を対象とした企業内最低賃金協定の締結をめざす。締結水準については、時給1,250円以上をめざす。

④賃上げの結果および企業内最低賃金協定を法定最低賃金引上げに結びつける。地域別最低賃金については、全都道府県で1,000円超えを実現するとともに、一般労働者の賃金中央値の6割水準をめざす。また、産業に必要な人材の確保・定着や労務費等の価格転嫁・適正取引を進め、当該産業の公正競争を担保するためには、企業を超えた産業レベルでの賃金水準形成も重要であり、特定最低賃金の役割を踏まえ、新設・改定に取り組む。

(次ページに続く)

<賃金要求指標パッケージ>

| | | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 底上げ | 経済社会の新たなステージを定着させるべく、全力で賃上げに取り組み、社会全体への波及をめざす。 すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、全体の賃上げの目安は、賃上げ分3%以上、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め5%以上とし、その実現をめざす。 中小労組などは格差是正を積極的に要求する。 | |
| 格差是正 | 規模間格差是正 (到達目標水準) 35歳: 303,000円 30歳: 279,000円 | 雇用形態間格差 ●有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていくため、フルタイム労働者と同等に能力の高まりに応じた処遇の実現に取り組む。賃上げ・昇給等により、経験5年相当で時給1,400円以上をめざす。 |
| | 最低到達水準 35歳: 252,000円 30歳: 238,000円 | |
| 底支え | ●企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ●締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、時給1,250円以上をめざす。 | |

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp 発行人 宮下 竜三

RENGO_YAMANASHI



Facebook



Homepage

～ その他の賃金要求 ～

- (3) 男女間賃金格差および生活関連手当支給基準の是正
- (4) 初任給等の取り組み
- (5) 一時金

2. 「すべての労働者の立場にたった働き方」の改善

- (1) 「豊かな生活時間の確保」と「あるべき労働時間の実現」の取り組み
- (2) すべての労働者の雇用安定に向けた取り組み
- (3) 職場における均等・均衡待遇実現に向けた取り組み
- (4) 人材育成と教育訓練の充実
- (5) 60歳以降の高齢期における雇用と処遇に関する取り組み
- (6) テレワーク導入にあたっての労働組合の取り組み

- (7) 障がい者雇用に関する取り組み
- (8) 中小企業、有期・短時間・派遣等で働く労働者の退職給付制度の整備
- (9) 短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に関する取り組み
- (10) 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

3. ジェンダー平等・多様性の推進

- (1) 女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
- (2) あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
- (3) 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- (4) 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

地域協議会の活動 11月1日 FRI 中部地協 第19回定期総会を開催

仲間とともに「必ずそばにいる存在」に！

11月1日(金)甲府市教育会館において、連合山梨中部地域協議会第19回定期総会を開催しました。

冒頭、桐原議長は、元日に発生した能登半島地震、9月の奥能登豪雨で被害に遭われた方々へのお見舞いと哀悼の意を表し、第50回衆議院選挙 山梨第1区 中島かつひと氏の当選御礼。各市長・教育委員会に対しての政策推進活動への感謝の気持ちを述べ、最後に、提案する運動方針において「実りある総会になるよう活発な審議をお願いします」と挨拶しました。

続いて、連合山梨 窪田会長より連帯のご挨拶をいただいた後に、ご来賓の中島かつひと衆議院議員より、選挙の御礼と決意が述べられました。そして、高木山梨市長、古屋県議、土橋県議、鈴木甲府市議、深沢甲府市議、藤原甲府市議、労働団体から、こくみん共済coop萩原推進本部長、中央労金 佐野 甲府支店長よりご挨拶をいただきました。

総会議事では、2024年度経過報告、決算報告ならびに2025年度運動方針、予算、役員体制が原案通りに承認されました。

連合山梨中部地域協議会役員一同、大会スローガンである「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう ～ 仲間の輪を広げ 安心社会をめざす～」の実現に向けて、連帯の決意として取り組みを進めていきます。



連合山梨中部地域協議会 事務局長 弘瀬 誠

地域協議会の活動 11月6日 WED 西部地協 第18回定期総会を開催

「地域に根ざした顔の見える運動」をめざして！



連合山梨西部地域協議会は、11月6日(水)に「第18回定期総会」を地域協議会・地区協議会から全役員参加のもと開催しました。多くのご来賓の皆様にもご参加をいただき感謝申し上げます。

冒頭、連合山梨西部地域協議会 矢巻議長から開会挨拶の後、連合山梨 窪田会長より、日頃の連合山梨、地域協議会の活動に対する感謝の言葉があり、特に第50回衆議院選挙においては「皆様のご支援により、連合山梨推薦の中島候補が見事当選を果たすことが出来ました」と御礼の挨拶をいただきました。また、来年実施される第27回参議院選挙では、組織内候補者全員の当選に向けてご協力をお願いがありました。

ご来賓の挨拶で、中島かつひと衆議院議員は「連合の皆様のご支援により当選できることが出来ました。今後も働く仲間のために活動してまいります」と決意の言葉を述べられました。

総会議案では、2024年度の経過報告・決算報告ならびに2025年度活動方針、予算が満場一致で承認され「地域に顔の見える運動」を基本に「地域で主体的な運動体の確立」をめざして活動を進めていくことを確認しました。

最後に、矢巻議長の団結ガンパロウで締めくくり、新年度がスタートいたしました。

連合山梨西部地域協議会 事務局長 土橋 一光

地域協議会の活動

11
8
FRI

東部地協 第20回定期総会を開催

連合に集う仲間と東部地域の仲間と新しいステージへ！

11月8日(金)富士吉田市民会館において、連合山梨東部地域協議会第20回定期総会を開催しました。東部地域協議会は、結成20年を迎えました。日頃より連合山梨をはじめ、構成組織・単組・OB・OGの方々のご理解とご指導に感謝申し上げます。

冒頭、連帯挨拶として、連合山梨 窪田会長より、第50回衆議院選挙の報告と御礼、そして、連合が掲げる政策制度を実現するための政治の大切さなどのお言葉をいただきました。続いてご来賓の挨拶では、富士吉田市 藤田市議会議員より、日頃の活動に対する感謝の言葉を述べられ「東部地域協議会の益々の発展を願います」と挨拶をいただきました。

議事では、2024年度経過報告・決算報告ならびに、2025年度活動方針・予算・役員体制の承認がなされ、新年度がスタートしました。

2025年度は、「社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう」のスローガンに基づき、構成組織との連携強化および、連合の掲げる「組織拡大プラン 2030」の人的な基盤強化の実現に向けた組織拡大の取り組みを進めていきます。

最後に河内議長より、「連合に集う仲間と東部地域の仲間と共に新たなステージへ！」と力強い決意表明が行われ、会場全体での「団結ガンパロウ」で締め括りました。

連合山梨東部地域協議会 事務局長 前田 宝

11
7
THU

2024確闘勝利！ 対県共闘会議・自治労山梨県本部・連合山梨官公部門合同総決起集会

組合員集結！ 公務員賃金確定闘争ヤマ場の総決起集会！

11月7日(木)舞鶴城公園南芝生広場において、対県共闘会議・自治労山梨県本部・連合山梨官公部門合同で、公務員賃金確定闘争ヤマ場の総決起集会が開催されました。

300人を超える組合員が結集する中、原対県共闘会議議長(山教組)は「10月21日、知事に要求書を提出し、確定闘争を開始した。交渉を積み重ねているが、私たちの求める水準には達していない状況である。諸手当水準の確保、人員の充実や長時間勤務の縮減、休暇・休業制度の改善などを求め、交渉を継続していく。県人事委員会勧告の内容は、月例給・一時金ともに引き上げとなっており、経済指標としての公務員賃金水準の改善にもつながるものである。来る2025春闘に向けても、公務関係組合の交渉勝利を目指し、皆さんの力を結集されたい」と訴えました。

続いて、松木対県共闘会議事務局長(自治労)からの情勢報告の後、的場山教組

書記次長と小俣自治労上野原市職委員長から決意表明が行われました。そして、石川梨高教委員長から「対県共闘会議・自治労山梨県本部・連合山梨に結集し、県人事委員会勧告の完全実施をはじめ、2024賃金確定闘争における要求実現に向け全力でたたかっていく」との集会決議が提起され、満場一致で決議されました。

対県共闘会議の知事交渉は、給与条例を改正することで人事委員会勧告を完全実施すること、通勤手当や子育て関連休暇制度の改善などの回答を引き出し、11月11日に終了しました。引き続き単組における交渉の勝利に向け、地力を合わせて取り組んでいきます！

官公部門連絡会 副議長 松木 友幸



12 **4~6** **STOP! 長時間労働** ~あなたの働き方は大丈夫?~
周知街頭宣伝行動を実施!



日本は先進国の中でも労働時間の長い国であり、年次有給休暇取得率の低さも世界でもトップレベルです。長時間労働は、働く仲間の心身の健康を損ねるリスクを高め、命に関わる重大な事態を引き起こしかねません。

連合山梨は、12月4日から12月6日の3日間、「STOP! 長時間労働~あなたの働き方は大丈夫?~」と題し、中部、東部、西部の地域協議会が主体となって街頭宣伝行動を行いました。

長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい環境整備を進め、心身の健康を確保しましょう!



当選御礼

国公総連組織内候補

皆様のご支援に感謝申し上げます

あいかわ むねひと

相川 宗仁 氏

【南アルプス市議会議員選挙】

2024年11月17日(日)投開票(投票率48.58%)

当選 相川 宗仁 1,431票 (7位/23人)



当選御礼

皆様のご支援に感謝申し上げます

ほさか たえこ

保坂 多枝子 氏

【北杜市議会議員選挙】

2024年11月17日(日)投開票(投票率67.94%)

当選 保坂 多枝子 992票 (17位/22人)



連合山梨

ふれあい基金カンパ

愛のカンパ 募集

連合「愛のカンパ」活動の取り組みと連動して、今年も「連合山梨ふれあい基金カンパ」に取り組みます。各構成組織、地域協議会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

集約 2025年1月8日(水)

※連合本部報告が「2025.1.31」であり、この時点の集約結果を2/6の連合山梨第4回執行委員会で報告し公開させていただきます。

- 目的** ふれあい基金カンパは、連合運動の社会的貢献をめざし、福祉団体(施設)への寄付および支援と連合山梨に加盟する組合員の相互扶助を目的に実施いたします。
- 目標金額** 組合員1人 100円程度
- 募集方法** 具体的取り組み方法については各構成組織に一任いたします。
- 集約** 各構成組織での取り組みが終了次第、以下へお振込みをお願いいたします。
- 振込先**
 - 金融機関 中央労働金庫 甲府支店
 - 口座番号 普通 1373476
 - 口座名義 連合山梨
 注：備考欄に必ず「ふれあい基金」と記入願います。



事業内容

- 福祉施設および福祉団体等への援助活動を行う。
- 連合本部等の実施する人権・人道主義に基づく活動に協力する。
- 災害等の被災者(被災地)に対する助け合い運動を行う。
- 連合山梨加盟組合の組合員および職員が「死亡した場合の弔慰見舞金」と「長期休務または、障がい者三級以上に認定された場合の見舞金」を行う。
- その他、連合山梨執行委員会が必要と認めた活動に対し行う。

※詳しくは、組合窓口へお問い合わせ願います。



法律相談 & 「心のケア」カウンセリングのお知らせ



法律相談

1月8日(水)

2月13日(木)

3月12日(水)

相談時間/15:30~17:30
(相談時間 1人30分無料)

**「心のケア」
カウンセリング**

1月8日(水)

2月12日(水)

3月12日(水)

カウンセリング時間/
18:00~20:00
(カウンセリング時間 1人50分無料)

【お申込み】やまなし勤労者サポートセンター(担当:太刀川) 【お問合せ】TEL 055-227-6290 FAX 055-235-2662